

## 検討すべき論点と検討の進め方（案）

平成28年2月10日  
内閣府賞勲局

### 1. 栄典授与の見直しの考え方

- 公的部門・民間部門を問わず、様々な分野から功績のある者をできる限り幅広く選考し授与していくことが運用の基本ではないか。
- 栄典授与は先例が重視されがちであるが、国家・公共に対する功労は社会経済の変化に応じて変化するため、既に栄典の評価対象となっている分野や功績の再評価も含め、適時適切に見直していく必要があるのではないか。

### 2. 今後重視すべき分野・功績

- 全体的には「官」が減り「民」が増えているが、民間部門の中には、まだ栄典授与が十分でない分野や功績もあるのではないか。
- 社会経済の変化等を踏まえて、今後重視していく必要があると考えられるのはどのような分野や功績か。

#### (1) 地域における活躍（※第1回会合で検討）

- 地域社会を支える各種団体（自治会、商工会議所、商工会など）へは栄典は適切に授与されているか。
- 地方創生の担い手（地域企業、民間団体、文化関係者など）は今後の栄典評価において重視されるべきではないか。等

#### (2) 外国人（※第2回会合で検討）

- 外国人への栄典の適切な授与件数はどうあるべきか。
- 授与の少ない国等での候補者のより幅広い発掘方策をどう考えるか。
- 海外の日系外国人・日本の在留外国人は今後の栄典評価において重視されるべきではないか。等

#### (3) 産業分野（※第2回会合で検討）

- 産業分野（企業経営者・民間団体役員）へは栄典は適切に授与されているか。
- 新たな産業分野（IT企業など）や知的財産（特許など）は今後の栄

典評価において重視されるべきではないか。

○地域社会に貢献する中小企業は今後の栄典評価において重視されるべきではないか。等

#### **(4) 公益的な活動を行う民間団体** (※第2回会合で検討)

○公益的な活動を行う民間団体(公益法人、NPOなど)は今後の栄典評価において重視されるべきではないか。

○紺綬褒章の対象となる寄附の客体を公益法人等すべてに拡大する等、紺綬褒章の在り方を見直すべきではないか。等

#### **(5) 女性の活躍** (※第3回会合で検討)

○女性への栄典授与の現状をどう考えるか。

○女性への叙勲を増やす工夫を行うべきではないか。

○女性活躍推進や男女共同参画推進は今後の栄典評価において重視されるべきではないか。等

#### **(6) 各省庁から推薦されにくい分野・功績** (※第3回会合で検討)

○新たな省庁(消費者庁など)や候補者推薦の少ない省庁(内閣府など)の所管分野へも幅広く栄典を授与していくべきではないか。

○一般推薦制度が国民一般に知られていないのではないか。

○地域で様々な功績を有するものの各省からは推薦されない者を適切に評価する仕組みが検討できないか。等

### **3. 見直しに向けた取組** (※第3回会合で検討)

#### **(1) 各省の取組(候補者の選考・推薦)**

○公平性・専門性を確保しつつ候補者を幅広く選考・推薦する方策として、大臣表彰や知事表彰を積極的に活用してはどうか。

○これに併せて、現在、選考・推薦の対象となっている分野や功績の再評価を行ってはどうか。等

#### **(2) 内閣府の取組(栄典制度の企画立案・授与の審査)**

○各省の選考・推薦の指針となるよう、今後重視していく分野や功績に関する方針を明確に示す必要があるのではないか。

○必要に応じ、制度面の検討や分野ごとの受章者数の見直しも行うべきではないか。等